

会 議 録

会 議 の 名 称	第 7 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和 6 年 2 月 20 日 (火) (午前・午後) 2 時 開会 (午前・午後) 4 時 開会
開 催 場 所	茨木市役所本館 6 階第 1 会議室
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO 組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏(NPO 関係者)、高田和子氏(地域活動関係者)、板倉幸司氏(公募市民) (3 人) 【事務局】 吉田共創推進課市民活動グループ長、松井共創推進課職員 (2 人) 【関連課・担当課】 人権・男女共生課、子育て支援課、地域福祉課 (3 課)
開 催 形 態	原則公開
議 題 (案 件)	(1) 概要説明及び会議の公開・非公開の決定 (2) 各団体による事業報告及び質疑応答
配 布 資 料	・ 第 7 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和 5 年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 事業報告関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ、本日の会議の概要説明 公開・非公開の決定について（原則公開） ----- 事業報告開始 -----
団体	【人権・男女共同参画推進事業】 こどもが安心して過ごせる第3の居場所づくり事業 NPO 法人わんだーらんど
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・事業を行ってみて、気づきや今後の事業の必要性はどのように感じているか。 →こどもたちが何か作業するとき、創意工夫してやっているなど感じるので、この 場で時間を過ごすことによってこどもの可能性を広げる事業展開を意識したい。
板倉委員	・事業へのニーズは。 →学校など関係機関からの「居場所がない子の居場所」としての相談は受けている。 場所とスタッフ人数が最大の課題。継続的なスタッフは、1年に1人増えるかど うか。募集に課題を感じる
団体	【人権・男女共同参画推進事業】 2023 年度茨木市「非核平和展」事業への協力 子どもたちと考える「戦争と平和」 in 茨木実行委員会
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】 ・イベント実施する際のターゲットについて、「こどもたち」より少し物事を考え られる中高生などにターゲットを絞った催しを意識されると、より「こどもたち と考える」事業になるのでは。 →次回以降検討する。
団体	【自由テーマ型】 芝のみ 盆踊り 茨木コモンズ
関連課	【関連課 意見】

板倉委員	【質疑応答】 ・参加者には年配の人も多いのか。 →時間帯によるが、早い時間だと高齢者も参加してくれている。
河合委員長	・3回目にむけて、バージョンアップの予定はあるか。 →運営メンバーが少ないので、これ以上来客者数を増やすのは厳しい。
団体	【自由テーマ型】 移動式はいはい♡あんよルーム たまふら
関連課	【関連課 意見】
板倉委員	【質疑応答】 ・予算について。補助金以外の金額はどうしているか。 →会員制度を設けており、それで一部今年度の事業に充てている。次年度以降は補助金を使わずに実施する予定。
河合委員長	・事業を通した、役割分担や組織の成長についてはどうか。 →自分たちが当事者意識をもって行うことはできるようになった。それぞれが得意なことを行うのが自分たちにあっていると思う。
団体	【自由テーマ型】 子育て相談・楽しく遊ぼう！ 一般社団法人子育てサポート・えん
関連課	【関連課 意見】
板倉委員	【質疑応答】 ・次の担い手に伝えるためにも、気づきなどをまとめていただければ。
河合委員長	・事業実施にあたって工夫したところは。 →それぞれのメンバーが保育に関する価値観を持っているので、すり合わせるために定期的にミーティングを実施したところはよかったと思う。
団体	【自由テーマ型】 シニアにやさしいスマホ・タブレット講習 NPO 法人 茨木シニア ICT アソシエーション
関連課	【関連課 意見】
板倉委員	【質疑応答】 ・Zoom でも見ることができるものなのか →受講者が Zoom をつなげるところにも及んでいない方が多く、対面で実施した。

河合委員長	・使えない人の気持ちにならないとどういった講習が効果的かの検討が難しいと思う。モニター隊などがいてもいいかも。 →シニアの気持ちは意識して事業実施をしている。
高田委員	・スマホを持っているシニア世代は多いが、できることがわからない人が多い。簡単な健康チェックや孫の写真をシェアできるなど、便利・楽しいアプリを紹介することでスマホへの興味が深まるように思う。
団体	【自由テーマ型】 ふくしば みくすと ふくしばみくすと実行委員会
関連課	【関連課 意見】
河合委員長	【質疑応答】 ・ひとつのイベントと関連事業を含めたパッケージとしての継続は予定しているか →予定している。ただ、進め方としては、「これをやる」という進め方ではなく、その時々メンバーの得意なこと、やりたいことについて対話をしながら進めていきたい。 ・団体設立にあたっての当初の目的は。それに対する達成度は。 →障害がある人の社会参加を促すことを目的としていた。事業はうまく進められたが、団体としての目標達成に向けてはまだまだこれからだと思う。
河合委員長	他に意見はないか。以上で報告を終了する。
河合委員長	事務局から連絡事項はないか。
事務局	次回の開催は2月26日、場所は本日と同じ会場となります。
河合委員長	以上で、第7回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。